



2025年8月14日

各 位

会社名 株式会社ハイブリッドテクノロジーズ  
代表者名 代表取締役社長 平川 和真  
(コード番号：4260 東証グロース)  
問合わせ先 取締役 濱本 剛史  
TEL. 03-6222-9506

### 本社移転に係る減損損失等の計上、及び2025年9月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年8月14日開催の取締役会において、本社オフィスの閉鎖・移転、及びこれに伴う2025年9月期における減損損失等の計上、並びに2024年11月14日に公表いたしました2025年9月期業績予想の修正を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本社オフィスの閉鎖・移転

当社は、東京都中央区に構える本社オフィスを閉鎖し、中野区オフィスに本社を移転することといたしました。

当社は従前より当社の従業員に対し、各人の働き方やワークライフバランスを尊重する就労環境の提供を目的として、リモートワーク環境や、柔軟な勤務時間を設定できる体制を整備しております。一方で、従業員間や顧客とのコミュニケーションを促すため、出社勤務の促進に取り組んでおります。その取り組みの一部として、2023年10月1日付で吸収合併した株式会社イクシアスのオフィスを併用し、中央区、中野区の都内2箇所に拠点を設けることで、従業員の通勤利便性や、満足度の向上を図っております。

これにより、従業員の出社促進には一定の効果があったものの、通勤先が2拠点に分散されることで、部門やエリアを跨ぐ横断的なコミュニケーションはかえって阻害されてしまう側面があり、都内2拠点体制にかかる諸費用に対し十分な効果を発揮していない状況であると判断しました。

これらの状況を勘案し、全社横断的な一層のインナーコミュニケーションの促進と、将来的な固定費の最適化を目的として、この度中央区オフィスの閉鎖を決議し、中野区オフィスに本社を移転することといたしました。これにより、一時的な減損損失等の費用が発生しますが、来期以降には年間23百万円程度の固定費削減効果を見込んでおります。

なお、本移転により定款に一部変更が生じる予定です。移転日の決定、及び定款変更を付議する定時株主総会の詳細につきましては、今後開示予定です。

#### 2. 中央区オフィスの閉鎖及び本社移転に伴う減損損失等の計上

中央区オフィスの閉鎖及び本社移転に伴う減損損失等23百万円を計上することとなります。当社は、国際会計基準(IFRS)を適用しているため、減損損失等はその他の費用となり、2025年9月期の営業利益に影響します。

3. 通期連結業績予想の修正（2024年10月1日～2025年9月30日）

（単位：百万円）

|                        | 売上収益  | 営業利益  | 税引前利益 | 当期利益   | 基本的1株当たり<br>当期利益 |
|------------------------|-------|-------|-------|--------|------------------|
| 前回発表予想（A）              | 3,258 | 251   | 207   | 151    | 11円66銭           |
| 今回修正予想（B）              | 3,002 | 29    | 2     | △34    | △5円05銭           |
| 増減額（B－A）               | △255  | △222  | △206  | △185   | -                |
| 増減率（%）                 | △7.8  | △88.6 | △99.2 | △122.4 | -                |
| （参考）前期業績<br>（2024年9月期） | 3,135 | 108   | 97    | 60     | 4円67銭            |

- （注） 1. 当社グループは国際会計基準（IFRS）に基づき連結財務諸表を作成しております。  
2. IFRSに基づいた連結財務諸表の端数処理に合わせ、百万円未満を四捨五入して記載しております。

4. 通期連結業績予想修正の理由

当社は、2024年11月14日に2025年9月期の通期業績予想（以下、前回発表予想）の開示を行い、売上収益3,258百万円、営業利益251百万円、税引前利益207百万円、当期利益151百万円と予想し公表いたしました。

しかしながら、前期に決議したベトナム子会社のダナン拠点の閉鎖に伴い、残る2拠点に移管した一部案件の残存トラブルの正常化のため、今期に追加対応工数が発生したこと、これにリソースを充当した結果、新規顧客の開拓や既存顧客の拡大に充当できるリソースが不足したこと等が、当期の売上収益、および各段階利益を押し下げる要因となりました。

売上収益面においては、2025年8月14日に株式譲渡契約を締結した株式会社ハイブリッドビジネスコンサルティング（HBC社）の連結取込による24百万円の増収を見込む一方、新規顧客の開拓や既存顧客の拡大の鈍化によって、前回発表予想の売上収益に対し約280百万円の減少となりました。

利益面においては、HBC社の売上総利益11百万円、及び営業利益9百万円を増加要因として見込みつつも、売上収益の減少に伴う売上総利益の減少（前回発表予想の売上総利益率で試算した場合、売上総利益に対して約105百万円の減少影響）、およびダナン拠点が管理していた一部案件の残存トラブルの正常化に要する追加工数の発生が、売上総利益に対し約125百万円の減少影響となりました。

また、「2. 中央区オフィスの閉鎖及び本社移転に伴う減損損失等の計上」に記載している減損損失等23百万円、並びにNGS Consulting Joint Stock Company（NGSC社）及びHBC社のM&Aに係る買収関連費用15百万円が、営業利益の減少影響となりました。

（単位：百万円）

| 項目                                      | 売上収益 | 売上総利益 | 営業利益 |
|---|------|-------|------|
| 既存案件の正常化にリソースを充当したことによる<br>新規獲得・既存拡大の鈍化 | △280 | △105  | △105 |
| ダナン拠点が管理していた開発案件の残存トラブルの正常化に要<br>した追加工数 |      | △125  | △125 |
| 本社移転に伴う減損損失等の計上                         |      |       | △23  |
| HBC社の連結取込                               | 24   | 11    | 9    |
| NGSC社及びHBC社のM&Aに係る買収関連費用                |      |       | △15  |
| 合計                                      | △255 | △219  | △260 |

以上の結果、通期の売上収益は3,002百万円（前期比4.2%減）、営業利益は29百万円（前期比73.6%減）、税引前利益は2百万円（前期比98.3%減）、当期利益は△34百万円（前期比156.2%減）と予想いたしました。前回発表予想に対する増減率は、売上収益7.8%減、営業利益88.6%減、税引前利益99.2%減、当期利益122.4%減となりました。

**【業績予想に関する注意事項】**

本資料に記載されている2025年9月期業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因で異なる場合があります。

なお、HBC社の株式取得に関する詳細については、本書と同日に開示している「株式会社ハイブリッドビジネスコンサルティングの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。